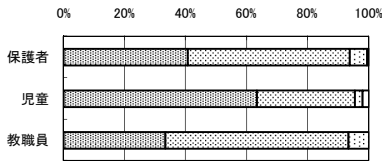


■4-そう思う □3-どちらかといえば、そう思う □2-どちらかといえば、そう思わない □1-そう思わない

学校教育目標

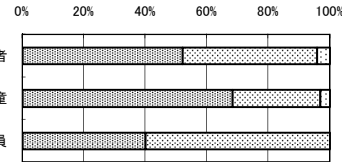
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



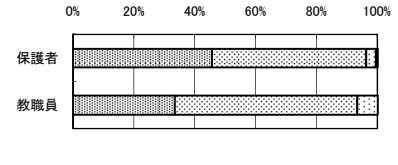
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

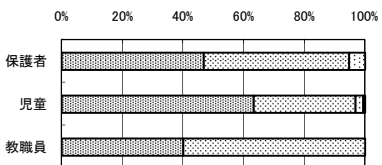


【学校から】 教育方針や目標に関して、わかりやすいと答えている保護者・児童の割合が昨年度より増えている。パンフレットやPTA総会、講話朝会などをおして具体的に伝えてきたからだと思う。楽しい学校生活が送れているかについては「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると90%以上が肯定的に答えている。教職員間の連携協力についても保護者からの評価は高い。教職員も「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると90%以上が肯定的に答えている。

教科指導

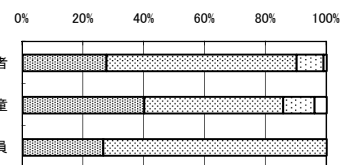
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

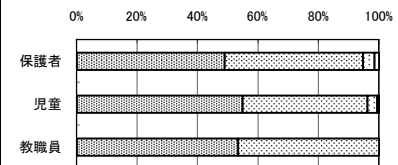


【学校から】 教師の授業づくりについての満足度は保護者・児童共に高い。特に、児童の「そう思う」の割合が昨年度の50%から60%以上と高くなっている。それに比べて、学習態度については保護者・児童共に意欲の面でやや低い値を示している。教職員も授業づくり面に比べ、児童の意欲面に対する評価が低くなっている。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

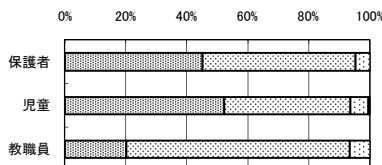


【学校から】 総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると答えている保護者の割合が年々高くなってきている。なでしこ音楽交流会始め各学年の活動が充実・定着してきているからだと思う。

道徳教育 心の教育

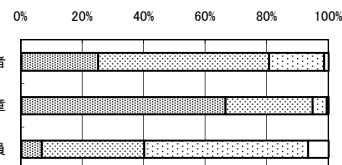
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

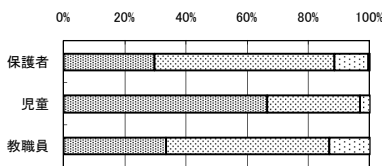


【学校から】 心の教育については保護者・児童共に年々評価が高くなってきており、肯定的である。教職員も「そう思う」の評価は少し低い。「どちらかといえばそう思う」と合わせると90%以上は肯定的である。あいさつについては、あいさつがきちんとできていると答えている児童の割合は高い。しかし、保護者の評価は児童の評価に比べて低い。教職員の評価もかなり低くなっており、児童との意識のずれが大きい。

人権教育

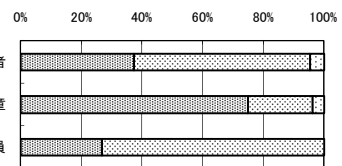
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

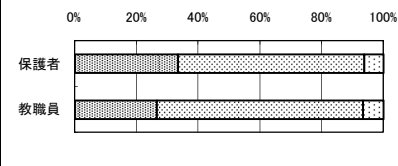


【学校から】 一人一人を大切にす指導や対応について児童は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に捉えている割合が高い。保護者や教職員の評価はやや低い。児童の多くが友だちともなかよくしていると肯定的に捉えており、保護者や教職員も「どちらかといえばそう思う」と肯定的に捉えている割合が90%以上になっている。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

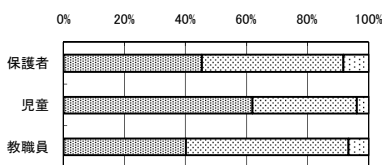


【学校から】 教職員は支援を必要とする児童について、支援期会などを活用し共通理解に努めてきた。保護者の意識も高まってきており、90%以上が肯定的に捉えてきている。

生徒指導 教育相談

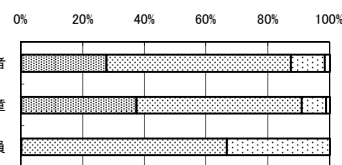
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



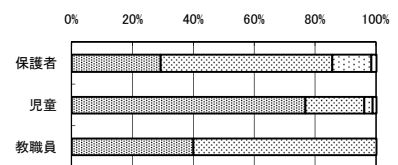
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



【学校から】 教職員は児童理解に努めており、保護者や児童からも肯定的に捉えられている。いじめ等の問題に対する対応については児童や教職員は肯定的に捉えているのに対し、保護者はやや否定的である。きまりやマナーを守るといった児童の規範意識については、児童と保護者の意識はかなり高いが教職員はあまり肯定的には捉えていない。児童と教職員では認識の隔りがあり、実践化に向けた具体的な取り組みや指標の提示等隔りや埋める必要がある。

| 健康教育 安全 | | 学校行事 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 15 安全と事故防止 学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。 | 16 体力向上 子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。 | 17 学校行事への参加と工夫 学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。 |
| 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 教職員 | 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 児童 教職員 | 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 児童 教職員 |
| 【学校から】 安全と事故防止に関しては保護者の信頼度は定着してきている。安全マップ作成や各種避難訓練等の具体的な対応が理解されてきている。体力づくりに関しては、外遊びの奨励をしております。休み時間は外で遊ぶ児童が多い。3学期になり女子も外遊びに積極的になってきている。 | | 【学校から】 学校行事に対して保護者からの評価が一段と高くなった。運動会やなでしこ音楽交流会などが充実している。今後も魅力ある行事を推進していく。 |

| 学校環境 | | |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18 環境の整理・美化 学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。 | 19 施設・設備の安全管理 学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。 | 【学校から】 校舎内外の整備・美化に関しては総じて評価が高い。委員会活動やボランティア活動、職員作業等として整理・美化に努めてきた結果だと思える。毎月の安全点検もきめ細かく実施されており、事後措置も適切になされてきている。今後も、定期・不定期の安全点検を継続し、早期発見に努めていく。また、安全教育に力を入れ、事故の未然防止にも努めていく。 |
| 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 児童 教職員 | 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 児童 教職員 | |

| 情報の公開・発信 | | 家庭・地域との連携 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 20 学校の予定等がわかる情報発信 学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。 | 21 教育活動への参加 学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。 | 22 家庭や地域との連携協力 学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。 |
| 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 教職員 | 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 教職員 | 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 教職員 |
| 【学校から】 学校の情報を学級・学年だよりや学校だより等で発信しているが、不十分と感じている保護者も見られる。活動の様子などを知らせることで、保護者も学校の状況をつかんできているようだ。学校が公開している教育活動に対して保護者は肯定的に受けとめている割合が高い。今後も一層の拡充を図っていく。 | | 【学校から】 学校と地域や家庭との連携は良好であると捉えている保護者が多いが、否定的に捉えている保護者も15%程度見られる。今後もさらに説明責任を果たし、開かれた学校づくりを目指していく。 |

来年度の具体的な取り組みについて

学校評価の結果から、学校の教育活動に関して保護者からは概ね肯定的な評価が得られている。今年度は碩台小「まごころ」運動として「あいさつ」の心、「そうじ」の心、「花」の心、「歌」の心に重点的に取り組んできた。「あいさつ」と「歌」については児童の自己評価も高かった。今後は「そうじ」と「花」について校内美化・緑化の観点からも自己評価が高くなるよう力を入れていく。学力に関しては、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図ることと活用する力のさらなる充実を目指していく。行事や総合的な学習の時間についても、限られた時間の中で充実を図っていく。特別支援教育については、支援朝会の継続と毎月の校内支援委員会を実施することにより充実したものにしていく。地域に信頼される開かれた学校を推進していくために、保護者や地域の人々に耳を傾け、学校・家庭・地域の連携をより強化していく。課題面については原因を確かめながら改善に努めていく。学校だけで改善することが難しい内容については、保護者とも連携をとりながら進めていく。

学校関係者評価

学校の教育方針が今風で、みんなに分かりやすくなっているようだ。学校の様子や行事の様子をDVDに残す計画があるようだ、よいことだと思う。今年度は研究発表会や音楽の大会があり教師も子どももどきどきの連続だったろう。学校で感動を味わっているようだ。確かなところを記録として残すことはよいことだと思う。あいさつがよくないという指摘もあるが、かなりよくなってきていると思う。「おばちゃん、こんにちは。」と進んであいさつする子どもの姿を目にするとうれしくなる。心を開く一番はあいさつからだろう。地域の方や保護者にはあいさつ運動などに協力してもらってありがたい。あいさつをしない子どもに長くあいさつを呼びかけていると、するようになるものだ。子どもにあまり関わっていない家庭があるようだ。今後は、地域の見守りが必要になるかもしれない。地域として、自分たちの意識を高めていくことも大切である。